

# 腎・高血圧内科

## 1. 診療科の紹介

腎・高血圧内科では、慢性腎臓病（CKDの各ステージ全般）、高血圧治療を中心に診療を行っています。慢性腎臓病は、検尿異常（蛋白尿、血尿）の精査・診断（腎生検による確定診断と治療方針の決定）、慢性腎炎やネフローゼ症候群の診断治療から、透析前保存期腎不全状態の管理（食事療法・薬物療法の指導）、透析準備（内シャント作成・CAPDカテーテル留置）と透析導入（血液透析・腹膜透析）、さらに維持透析患者の合併症（シャントトラブル）での入院管理を他診療科（循環器内科・整形外科・眼科など）と連携を取りながら行っています。多くの症例を経験することができます。

## 2. 研修プログラム

「よき臨床医」を目指すことを目標にしながら、内科認定医取得のために必要な症例を経験するために以下の研修を行っています。

- 1) 急性・慢性腎炎の診断と治療（腎生検の適応の判断と実施、病理組織診断）と管理について症例を通して研修します。
- 2) ネフローゼ症候群の診断と治療（腎生検の適応の判断と実施、病理組織診断）と管理について症例を通して研修します。
- 3) 腎・高血圧内科初診外来を指導医とともに担当し、初期治療方針や検査の進め方などについて患者さんと話し合いながら決定していく外来診療現場を経験し研修します。
- 4) 透析導入前の慢性腎不全の患者さんの治療（食事療法・薬物療法）について症例を通じて研修します。
- 5) 透析導入前におけるバスキュラーアクセス管理（ダブルルーメンカテーテル挿入と管理、内シャント作成手術介助、CAPDカテーテル挿入手術介助）について研修します。
- 6) 維持透析患者の管理について研修します。
- 7) 透析患者の合併症入院症例について他診療科医師と連携を取りながら研修します。
- 8) 毎週実施されるカンファレンス、回診でのプレゼンテーションや文献検討会での知識の整理と習得を行います。

慢性腎臓病患者は、多くの合併症を抱えているため、腎・高血圧内科単独での診療だけではなく他の診療科スタッフと良好なコミュニケーションをとり、患者さんに愛されるチーム医療について研修します。研修中に生じた疑問や問題点に関しては、指導医を中心に丁寧に解説し、指導を行います。

## 3. 研修目標

研修中に経験した貴重な症例に関しては、内科学会や関連学会での発表、論文作成の指導も行います。

研修を行いながら腎臓内科医としての知識・技術を習得していきますが、「よき臨床医」として生命の尊厳について向き合っている姿勢、患者に根ざした医療を提供する重要さとの確かな臨床的判断能力を養えるように指導していきます。

## 4. 取得専門資格

内科認定医

日本腎臓学会 専門医

日本透析医学会 専門医

## 5. 指導スタッフ

専 門	役 職	氏 名	卒年度及び出身大学	専門医・認定医など
腎 臓 内 科	科 長 先任准教授	前 田 国 見	S60. 順 大 (H4. 大学院)	日本透析医学会専門医 日本透析医学会指導医
腎 臓 内 科	助 教	関 口 嘉	H9. 順 大	日本内科学会認定医
腎 臓 内 科	助 教	発 田 陽 子	H15. 東京女子医大 H22. 順大院	日本内科学会認定医 日本透析医学会専門医
腎 臓 内 科	助 手	山 路 研 二	H9. 順 大	

## 6. 募集定員

2 名

## 7. 問い合わせ

順天堂大学医学部附属練馬病院 臨床研修センター

(TEL: 03-5923-3111/FAX: 03-5923-3197/mail: kenshui@juntendo-nerima.jp)

担当医: (科長) 前田 国見・山路 研二